

## 総合的な学習の時間

小学校 第5・6学年

OS・ソフト等

- SKYMENU Class
- Teams

<単元・題材名等>

### オリジナル薬草入浴料作り

#### ねらい

オリジナル薬草入浴料作りのために、情報収集する中で感じた疑問について、仲間や薬草組合の方と話し合う活動を通して、自分の目的に合う入浴料を作るために必要な薬草やその分量について知り、オリジナル薬草入浴料作りをどのように行うのかをまとめることができる。

#### 主なICTの活用方法

- ・ オリジナル薬草入浴料作りの中で感じた疑問を協働学習支援ツール（SKYMENU）の「発表ノート」にまとめ、仲間に伝える。
- ・ 薬草組合の方と交流するために、オンライン会議システムを用いる。

#### ICTを通じて育成する資質・能力

- ・ ICTを用いて、自分たちが意見を伝える際に必要とする資料を作成することができる。
- ・ 資料の中から必要のある情報を取捨選択することができる。
- ・ 自分の考えを伝える時に、効果的な方法を選択することができる。

#### 実践の概要

本実践では、5・6年生の総合的な学習の時間に行っている「薬草入浴料作り」の学習において「オリジナル薬草入浴料作り」を取り上げた。校区の地域を中心に収集してきた薬草を用いて、児童の願いに基づく入浴料を作っている。本時では、活動の中で生まれた疑問について仲間や薬草組合の方と交流し、これからのオリジナル薬草入浴料作りへの意欲をもてるようにする。

本時を迎えるにあたり、児童は「温まる入浴料」、「さわやかな気分になれる入浴料」、「気分が落ち着く入浴料」を作りたいという願いをもち、チームに分かれてそれぞれに合う薬草について書籍やインターネットで調べてきた。それらの情報や、調べる中で明らかになった疑問を、SKYMENUの「発表ノート」にまとめ、本時はチームごとに発表する。また、薬草組合の方には、事前に授業の様子をTeamsで配信し、児童がどのような考えをもっているのかを伝える。

本実践を通して、児童は仲間や薬草組合の方の意見を取り入れ、入浴料作りの研究を進めたいという願いをもてるようにする。

#### 児童の学びの様子

- チームで協力して、各チームが作りたい理想の入浴料のレシピとゲストティーチャーへの質問事項を分かりやすくSKYMENUの「発表ノート」にまとめ、大型提示装置を活用して、他チームやゲストティーチャーに伝えることができた。
- ゲストティーチャーとのやり取りでは、Microsoft Teams上でデータを共有しながら、質疑応答を通して、理想の入浴料作りの具体的なアイデアを双方向で出し合うことができた。
- 本時で学んだ具体的な改善案を「発表ノート」に入力し、共有することができた。



#### 指導のポイント

- 児童が作成した「発表ノート」をゲストティーチャーに事前に送付し、発表・質問内容と授業のねらい、展開について説明するとともに、Teamsの接続方法や通信状況についてリハーサルを行う。
- 児童のICT端末のデータを大型提示装置に投影し、それをビデオカメラで撮影しながらTeamsで配信することで、教室内（児童間）と配信先のゲストティーチャーとの双方向コミュニケーションを生み出す。